

広域観光・文化振興の取組

■「関西観光・文化振興計画」に沿った施策の展開

平成 24 年 3 月に、関西から日本の元気を取り戻し、観光から日本の元気を取り戻すという高い目標を掲げて「関西観光・文化振興計画」を策定。27 年 3 月には、外国人観光客の大幅な増加や、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック、関西ワールドマスタースターズゲームズ 2021 の開催など、国際観光を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、次のステージに向かうべく計画の改定。この計画に基づき、関西で観光・文化振興に取り組む自治体や関係機関、経済団体等と連携し、関西が一体となった戦略的な取組を進めてきています。

なお、計画に定めた数値目標が 2015 年実績で達成したことから、現在、数値目標の見直し等を行っています。

計画に掲げた将来目標等

- ・日本の現状 来日外国人客数は世界第 22 位。魅力の発信と活用が不十分
- ・将来目標 関西の将来像を「アジアの文化観光首都」にする
- ・数値目標 関西への訪問外国人客数を 2020 年 800 万人を目指す、などを設定

<7つの戦略>

1. 「KANSAI」を世界に売り込む

広域観光ルートの提案、「KANSAI 国際観光 YEAR」の展開 など

2. 新しいインバウンド市場への対応

観光需要の創出、新しい市場への対応 など

3. 的確なマーケティング戦略による誘客

国・地域別のマーケティングに基づく誘客、KANSAI WEB 戦略 など

4. 安心して楽しめるインフラ整備の充実

関西国際空港の魅力向上、おもてなし・利便性の向上 など

5. 関西の文化の魅力発信

関西文化の認知度・イメージ向上、連携交流による関西文化の一層の向上
など

6. 関西文化の継承とプラットフォームづくり

関西文化の次世代継承と人材育成、情報発信・連携交流支援・人づくりを支える環境（プラットフォーム）づくり など

7. 東京オリンピック・パラリンピック等に向けて

国とも連携した関西文化プログラムの実施、戦略的誘客 など

○文化振興指針「文化首都・関西」ビジョン

文化振興の取組を強化し、関西文化の魅力を内外に発信するため、「文化首都・関西」の実現と併せ、標榜する「アジアの文化観光首都」としての発展を目指すという理念のもと、関西における豊かな文化創造を育む基盤づくりが最も必要であるとの視点に立ち、25年度に文化振興指針を策定しました。「関西観光・文化振興計画」は、この指針の内容も反映させています。

○平成28年度予算

戦略の具体化を図るため、広域観光・文化振興分野として、当初予算で48,559千円を計上しています。

平成28年度分野予算

- | | |
|-------------------------------|--|
| ・KANSAI ブランドの構築
(35,097千円) | 美の伝説ルート誘客促進事業
海外プロモーションの実施 など |
| ・基盤整備の推進(3,452千円) | 通訳案内士の人材育成 など |
| ・関西文化の魅力発信事業
(9,600千円) | 東京オリンピック・パラリンピック等の開催に
向けた関西文化の発信強化 など |
| ・総務費(410千円) | |

■取組状況

○KANSAI ブランドの構築

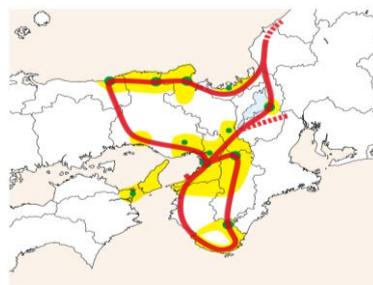
世界の観光マーケットにおいては、関西(KANSAI)の知名度はまだまだ低い状況にありますが、外国人観光客誘客に向けて、将来的にはブランドとしての優位性を確保する必要があります。このため、個々のイメージではなく、「関西」という一つのブランドで積極的に海外に向けて発信する取組みを展開します。

(1) 広域観光周遊ルート「美の伝説」

関係機関や経済団体等と連携して、日本の伝統美や自然美、精神文化、生活文化の美意識にふれる広域観光周遊ルート「美の伝説」が27年6月に国土交通大臣から認定を受け、現在、国の支援も受けながら関西全体に集客効果を波及させる取組を展開しています。



太田国土交通大臣から認定証を受け取る
山田広域観光・文化振興担当委員



広域観光周遊ルート「美の伝説」の周遊
イメージ

(2) 「KANSAI 国際観光 YEAR 」

国際観光圏「KANSAI」のブランドを世界に売り込むため、世界に誇る関西の魅力や強みを毎年1つのテーマに絞ってブランドとして発信する「KANSAI 国際観光 YEAR」では、2013年は「関西の食文化」、2014年は「関西のマンガ・アニメ等」、2015年は「関西の世界遺産等」をテーマに、官民が一体となりPR活動を行ってきています。

2016年のテーマ「関西のスポーツ観光」については、3月に関西国際空港で外国人観光客向けキックオフイベントとして、関西のスポーツ観光を紹介する映像放映やパネル展示等を実施。また、10月には鳥取県で開催される「ワールド・トレイルズ・カンファレンス」と、京都で開催される「スポーツ・文化・ワールドフォーラム」と連携したPRを予定しています。また、「関西観光WEB」でも関西の食文化やマンガ・アニメ、世界遺産、スポーツ観光等の関連情報を広く発信しています。



関空国際空港で外国人観光客向けキックオフイベントを実施（平成28年3月25～26日）

(3) 海外プロモーションの実施

「関西」をさらに魅力ある観光圏としてアピールするため、関係団体との連携のもと海外へのプロモーションをこれまで10回実施し、歴史や文化など関西の多様な魅力を紹介し、KANSAIブランドを発信しています。27年9月には、経済発展が著しく、ビザ緩和・免除により訪日旅行者数が大幅に伸びている東南アジアのフィリピン及びマレーシア、11月にはベトナムにおいて、関西観光の魅力のアピールしました。

平成28年度は、台湾・香港での実施を予定しています。



フィリピン政府観光省との意見交換
（平成27年9月19日）

・台湾・香港プロモーション（予定）

日時 平成28年8月30日（火）～9月2日（金）
内容 政府要人・旅行団体等訪問等

(プロモーション実績)

年度	訪問先	日程	参加者	行催事
23	中国 (北京市、上海市)	2011/07/20~23	連合長、山田委員、嘉田知事、平井知事、森関経連会長ほか総勢57名	20日：表敬訪問、フォーラム等(北京市) 21日：表敬訪問(北京市) 22日：表敬訪問、観光セミナー等(上海市)
	韓国 (ソウル市)	2011/09/18~20	山田委員、平井知事、森関経連会長ほか総勢20名	19日：表敬訪問、観光セミナー(ソウル市) 20日：表敬訪問(ソウル市)
24	韓国 (ソウル市)	2012/08/01	山田委員、秋山連合協議会会長ほか	1日：表敬訪問、観光セミナー(ソウル市)
	中国 (北京市、杭州市、上海市)	2012/09/11~13	連合長、山田委員、嘉田知事、森関経連会長ほか総勢50名	11日：観光セミナー(北京市) 12日：レセプション(杭州市) 13日：観光セミナー等(上海市)
	シンガポール マレーシア	2013/02/17~19	山田委員、秋山連合協議会会長ほか	17日：レセプション(シンガポール) 18日：意見交換会、旅行社訪問(シンガポール) 19日：表敬訪問、旅行社訪問(マレーシア)
25	中国 (香港、広州市)	2013/09/13~16	連合長、山田委員、嘉田知事、森関経連会長ほか総勢50名	14日：関西観光展、物産展オープニングイベント、レセプション等(香港) 15日：情報交換会、視察等(香港、広州市) 16日：表敬訪問(広州市)
	タイ	2014/02/20~21	田中広域観光・文化振興局観光課長、森官民連携担当参事、櫻井和歌山県課長ほか総勢7名	20日：タイ国際旅行フェア(タイ) 21日：タイ国際旅行フェア、表敬訪問等(タイ)
26	タイ マレーシア	2014/11/19~21	連合長、山田委員、福島関空会社会長ほか総勢35名	19日：レセプション(タイ) 20日：旅行セミナー・表敬訪問(タイ) 21日：旅行セミナー・表敬訪問、関西観光展・物産展オープニングイベント等(マレーシア)
27	フィリピン マレーシア	2015/09/18~21	山田委員、福島関空会社会長ほか総勢24名	18日：表敬訪問、レセプション(フィリピン) 19日：意見交換会(フィリピン) 20日：表敬訪問、意見交換会、観光ブース(マレーシア)
	ベトナム	2015/11/27~29	井戸連合長、秋山連合協議会会長ほか総勢29名	27日：意見交換会、観光プロモーション・レセプション(ベトナム) 28日：テレビ局訪問、表敬訪問、観光ブース(ベトナム)

(4) ジオパーク活動の推進

関西広域観光の幅を広げ、外国人観光客の関西圏内の周遊を促進するため、関西にある優れた地質景観スポットを提案・PRしています。

平成28年3月には、外国人旅行者向けフリーペーパーで、山陰海岸ジオパークなど関西の優れた地質景観スポットを「地質の道」として掲載しました。

また、平成27年9月に開催された「第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウム」の鳥取会場において、PRしました。

※平成26年8月28日には南紀熊野ジオパークが日本ジオパークに認定され、平成26年9月23日には山陰海岸ジオパークが平成30年までの4年間、再び世界ジオパークとして認定されました。

なお、平成27年11月には、ジオパークのユネスコ正式プログラム化が決定しました。



「地質の道」紙面
(平成 28 年 3 月)

(5) 関西国際観光推進本部の取組

関西の外国人観光客誘致の推進母体として、関西広域連合を含む官民が一体となり「関西国際観光推進本部」が平成28年3月に設立されました。関西をアピールする活動や、参画団体の個性を活かした関西ならではの連携事業等に関西広域連合も参画し、取り組んでいます。



(左から)
山田本部長代行、井戸本部長、森本部長、
角本部長代行
(平成28年3月)

○文化振興の取り組み

(1) 関西「文化の道」事業の推進

関西が有する文化芸術資源をテーマでつなぐ「文化の道」事業を展開。関西で発祥し全国に広がった関西共通の文化である「人形浄瑠璃・人形芝居」や、地域文化の結晶である関西の「祭り」にスポットをあてた取組を推進しています。

<取組状況>

- ・「関西祭.com」の英語対応に加え、平成27年度は中国語（簡体字・繁体字）・韓国語にも対応しました。

(2) 関西元気文化圏の取り組み

関西2府8県の美術館・博物館・資料館等の文化施設等の協力を得て常設展等を無料とする「関西文化の日」について、平成27年度は11月14日(土)・15日(日)を中心に実施し、過去最高の602施設の参加のもと、関西が誇る長い歴史に培われた豊かな文化資源に気軽に接する機会を提供しました。

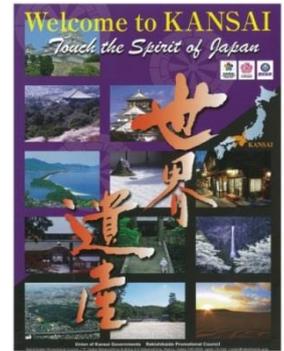
平成28年度も引き続き、11月の第3土・日を中心に実施を予定しています。

また、「関西文化の日」と連動して、11月を「関西文化月間」と位置付け、芸術文化情報サイト「関西文化.com」において、関西各地の様々な芸術文化情報を幅広く収集・発信します。



(3) 世界文化遺産等発信事業の推進

関西広域連合エリアは、古墳時代から戦国・江戸時代まで国内でも有数の世界文化遺産集積地になっており、観光分野・関係団体とも連携し、フォーラムの開催やリーフレットの作成など、広く無形文化遺産や記憶遺産、ジオパーク、世界遺産暫定リスト登録遺産等も含めて一体的に情報発信を行い、関西としての気運を盛り上げています。



(4) 東京オリンピック・パラリンピック等の開催に向けた関西文化の魅力発信

関西文化の内外への発信を強化し、関西文化を一体となって振興するため、「はなやか関西・文化戦略会議」を設置し、2020年東京オリンピック・パラリンピックや関西ワールドマスターズゲームズ2021などの開催に向けた取組について検討しています。

<取組状況>

- ・東京オリンピック・パラリンピック等の開催に向けた関西文化の魅力発信企画案・アイデアを募集(募集期間:平成27年7月8日～9月30日)し、関西オリジナル企画等の発掘と、企画案・アイデアの検討・作成を通して、関西の文化力を支える人材を育成。
- ・2020年に向け、各府県市の先進的取組等の共有化・汎用化を通して、関西文化のハーモナイズアップにつなげる「アーティスト・イン・レジデンス」をテーマにした国際シンポジウムを開催。



○その他の取り組み

(1) 無料 Wi-Fi の認証手続きの統一化

外国人観光客の Wi-Fi 利用の利便性を高めるため、関西広域連合の構成府県市が整備する無料 Wi-Fi の認証手続きの統一化に向けた取組を進めています。

(2) 効果的な情報発信

関西観光WEBや関西文化.com、SNSなどを通じ、関西の魅力ある情報を効果的に発信しており、関西観光webでは多言語化を進めるとともに、27年3月からハラル対応の店舗や礼拝所等をムスリムフレンドリーとして紹介しています。

(3) 人材の育成（通訳案内士）

平成25年度から広域連合で関西圏域の通訳案内士の研修を行い、各自のスキルアップや関西の魅力をあらためて認識いただき活躍の場を広げる支援をしています。